

若手研究者育成プログラム

龍谷大学経済学部

小峯 敦

2017.10.14

九州産業大学 1号館 N404A

若手研究者育成プログラム



2010.10.2

経済学史の利点(1)

■ 知のたのしみ 研究者個人

- 経済的な思考の**生成**・対抗・普及を記述。
- 理論化の過程や洞察力・世界観に注目。
- 経済学そのものをメタ次元で相対化・批評。
- 新しい**発見**と喜び。(例)「原表」第3版の発見(1965)。

■ 知のたくらみ 分野共同体

- 新しい理論への触媒(創造的破壊)。
- 理論家(化)と思想家(化)の分業・共存。
 - (例)堂目(2008: 289): 行動経済学・脳科学とスミス同感論
 - (例)シュンペーター: 新結合 ← 再生産と均衡の混合

経済学史の利点(2)

■ 知のたしなみ 社会共同体

- ひらく: 専門的になりがちな学問を、平易に解説。
- つなぐ: 経済学の専門家と学生、経済学者同士、経済学者と他の社会学者、専門家と素人。
- はたす: 科学者の社会的責任。専門知を社会的文脈に置く作業。

■ 経済学史とは 市場社会の歴史的解剖

- 経済学の歴史 History of Economic Thought
- 学説 [=理論・政策・思想の混合体] を整理し、未来の目的のために、過去に照らして、現在を研究する。

若手研究者への助言

■最初の求職活動

- 総合力。
- 選考する立場から逆算せよ。
- 論文・学会発表・研究分野・授業能力・社交。

■任期付き

- Business As Usual。
- 担当科目(特に英語、初年次教育)、事務能力。

■任期無し

- Publish or Perish.
- 教育や行政の中に研究要素を見いだせ。

The Trinity: 三位一体

